



2026 年 8 月 1 7 日

日本鉄道労働組合連合会

連 合 2 0 2 6 平 和 行 動 i n 長 崎

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～



日本労働組合総連合会（連合）は8月8日から9日にかけて、長崎市内で連合平和行動 in 長崎を開催。

J R 連 合 か ら は 石 川 敏 也 産 業 政 策 局 長 の ほ か 、 J R 四 国 労 組 、 J R 九 州 労 組 か

ら総勢30名近くの役員・組合員らが参加した。

8月8日に行われた「2026 平和ナガサキ集会」には、全国から1,515名の関係者が結集。集会の冒頭、戦争・原爆の被害にあった全ての犠牲者ならびに令和8年熊本地震の犠牲者に黙とうを捧げた。

主催者を代表して挨拶に立った神保政史連合事務局長は、戦後81年が経ち、被爆の実相を自らの体験として語ることでできる方が年々少なくなっている現状や成果文書を採択できずに閉幕したNP T再検討会議に言及し、「核兵器廃絶に向けた外交努力の継続を国に求めている。平和な未来を次の世代につないでいこう」と呼びかけた。



集会では、3歳で被爆した（公財）長崎平和推進協会継承部会の松本美都恵氏が悲惨な体験の実相を語り、二度と戦争を繰り返してはならないとの想いを訴えた。また、「核兵器廃絶と恒久平和を求める署名」



活動の報告、ユース代表団、高校生平和大使らによる核兵器廃絶や世界の恒久平和の実現を目指した活動の報告が行われた。

翌日に行われたピースウォークでは、原爆落下中心地公園にある各史跡を巡ったほか、長崎原爆資料館の見学を行い、平和を希求する想いを高めあった。

J R 連 合 は 連 合 の 平 和 行 動 に 連 帯 ・ 参 画 し 、 世 界 平 和 の 実 現 に 向 け て 取 り 組 ん で い く 。

